

「台湾サイエンスプログラム」に期待すること

学校長 駒田 勝

本年度の本校のスローガンは、『知を創造する人づくり』です。このスローガンを具現化するために、本校では多種・多様な「生徒研修」を計画・実施しています。今回の「台湾サイエンスプログラム」もその一環です。新型コロナウィルスの流行で一度は中断した本研修ですが、令和5年度に再開し、今年で3年目を迎えます。本年度もこうして台湾での研修が実施できるのも趣旨をご理解いただいた関係機関の皆さま方のご協力あってのことと、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

なお、昨年度までは、本研修を「台湾研修」と称していましたが、研修内容をより明確に伝えるため、本年度から「台湾サイエンスプログラム」と改称しました。

さあ、生徒の皆さん。日本を離れ、異国に身を浸す「異文化体験」の始まりです。到着後すぐに訪問する「国立台南女子高級中学」は、1917年創立の台湾屈指の伝統校です。本校とは、2015年に姉妹校提携を結びました。その目的は、両校の友好親善と共に、教育・文化・スポーツ・科学・社会分野等の交流を主眼とするものです。この度の研修では、日台の生徒同士が共同実験を行い、英語でのプレゼンを行います。また、姉妹校の研究を聴講し、英語での協議も予定されています。これらの交流を通して、皆さんの思考力や共感力、英語コミュニケーション能力、さらには国際性の向上を目指します。

また、最初の2日間、皆さんを受け入れてくれるホストファミリーとの交流は、台湾の文化や日常生活を知ることのできる貴重な時間です。是非、ホストファミリーの皆さんとは積極的な関わりをもっていただきたいと思います。

さらに、3日目に訪問する「国立成功大学」は、科学分野において台湾随一の研究内容と設備を誇る施設です。ここでの研修は、最先端科学に関する講義や、台南女子高級中学の生徒との共同実験等が予定されています。科学現象についての新たな知識や技能の習得に加え、発想力や思考力の向上を目指します。

4日間という短い期間ですが、この研修に参加したいと手を挙げた皆さんのこと、持ち前の好奇心を發揮され、異文化体験を大いに楽しめることだと思います。皆さんの長い人生の中でもこのような機会はそう多くないはずです。是非、自らの目で見て、自らの頭で考え、自らの肌で感じ、世界を体感していただきたいと思います。この度の研修が、未来に生きる皆さんの大いなる一歩となることを期待します。

最後になりますが、この度のお子様の研修参加にご理解・ご協力いただきました保護者の皆さん、そして、本研修の計画・実施にあたり尽力いただいた教職員等々、本研修に関わられたすべての方々に対し、心から感謝申し上げます。